

令和元年度

総務省「関係人口創出・拡大モデル事業」(関係創出型)



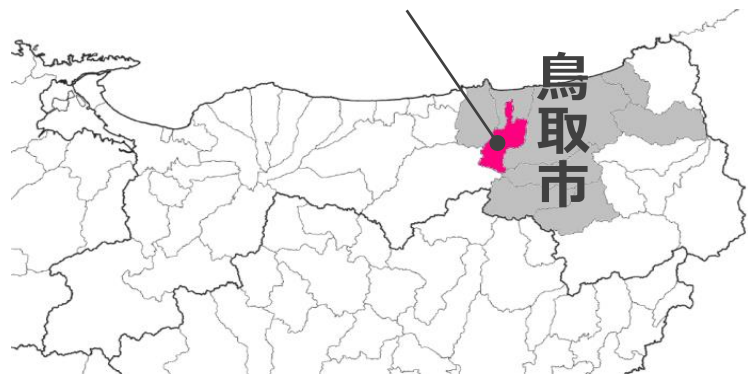
鳥取市+いんしゅう鹿野まちづくり協議会

関係人との繋がりから生まれる
未来構想プロジェクト

モデル地域の概要

●鳥取市鹿野町（モデル地域）

- ・人口 3,570人（R2.10月末現在）
- ・面積 52.77 Km²（約80%が山林）



課題

少子高齢化・地域の担い手不足

▶ 地域活力の低下

状況

景観・芸術を活かした住民主体のまちづくり

▶ 滞在受入れに取り組む

目的

都市部の人材・大学生との関係性の深化

▶ 持続可能なまちづくり

効果

- ・移住定住に繋がることを期待
- ・他地域での地域団体の育成・体制強化のモデル（具体例）



耕作放棄地



鳥の演劇祭



城下町の街並み

事業の実施体制とターゲット

実施体制

主 体	役 割
鳥取市 鹿野町総合支所	事業の進捗管理 事業実施運営サポート
中間支援団体 NPO法人 いんしゅう鹿野 まちづくり協議会	再委託 事業参加者の募集、現地受入、 事業の企画運営
事業アドバイザー ・フリーランス ・アーティスト ・大学教授	事業参加者の選考 現地企画に対するアドバイス 広報
事業協力者	事業説明補助 イベント（都市部）の支援
地域受入団体	事業参加者の現地受け入れ

移住定住・空き家対策
に取り組み経験豊富

事業の再委託先を
NPO団体に選定

ターゲット層

ターゲット層	活動内容等
都市部の フリーランス ・多拠点で活動する ことに関心がある	自分の仕事や作品制作をしながら、地域の活動に関わり、協働・提案するワークショップ、報告会等を開催する。
都市部の アーティスト ・地方での作品制作 を希望する	※特定の地域課題は設けない ※興味をもったもの、スキルを活かせるものなど自主的に地域づくりへ参画
都市部の大学生 ・地域づくりと関わる 大学 ⇒大阪国際大学	鹿野町河内集落が取り組んでいる「果樹の里山プロジェクト」に関する情報を発信する。

選
定
理
由

- ・アーティスト等の移住実績があり、活動が盛んな地域
- ・再委託先と地域活性化・人材育成で連携協定を結んでいる大学

事業概要

①都市部の人材の滞在受入事業

「鹿野とつながるプロジェクト」

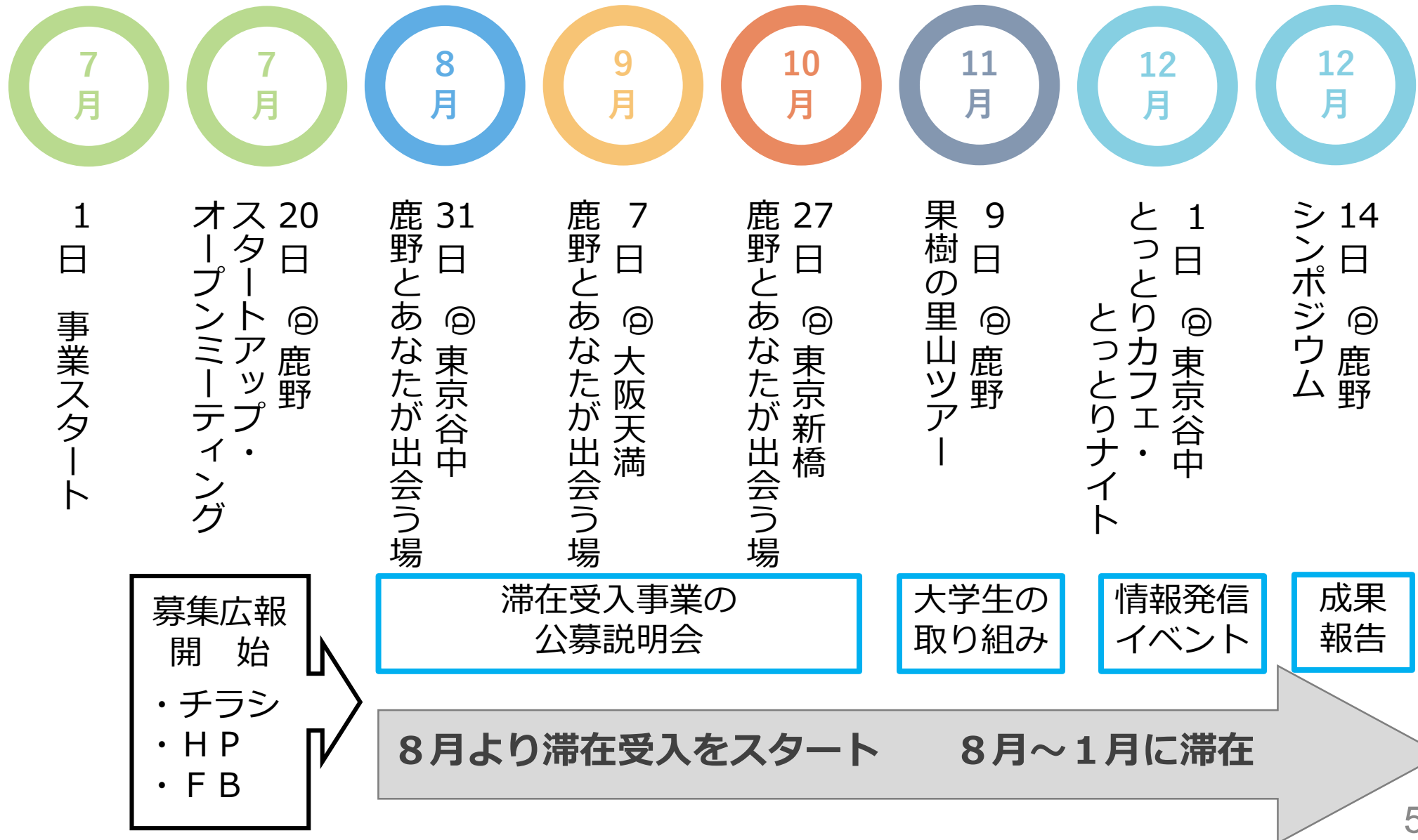
②情報発信イベント

「とっとりカフェ・とっとりナイト」の開催

③大学生の継続的な地域課題解決の取り組み

「果樹の里山ツアー」の開催

事業のスケジュール



滞在受入事業の公募説明会

「鹿野とあなたが出会う場」

第1回
8月31日 東京谷中

ターゲット 特になし

参加者 12名

第2回
9月7日 大阪天満

ターゲット アーティスト

参加者 13名

第3回
10月27日 東京新橋

ターゲット フリーランス

参加者 10名

内容

- 鹿野町・再委託先の紹介
- 「鹿野とつながるプロジェクト」 (滞在受入事業) 紹介
- 講演
- ワークショップ
- 相談、ヒアリング



情報発信イベント 「とっとりカフェ・とっとりナイト」



● 鹿野の特産マルシェ

2019 12.01 SUN.

<p>とっとりカフェ とっとりナイト 東京 2019</p>	<p>とっりの関係者・谷中の人々・地方に関わりたいと考えている方に、とっりの魅力や暮らしを伝え会話を楽しむ、一日限りのカフェ・ナイトを開催します。さんさきカフェは今年12月に10周年を迎えます。その記念すべきスタートの日に鳥取市鹿野町からお酒と旬素材、そして鹿野への旅語りトークと海産姉妹の音楽を届けます。皆さん一緒に楽しみましょう。</p>
<p>タイムスケジュール</p> <p>11:00 カフェ 18:00</p>	<p>鳥取の旬素材を使ったランチ、鹿野のお菓子を楽しみながらお話ししましょう。 トーク「鹿野に会いに行った旅語り」 <small>鳥取の鹿野町に集って 鹿野の魅力を語ります。</small></p>
<p>18:00 ナイト 22:00</p>	<p>¥3,000 (日本酒飲み放題 / お料理付き) 酒好きに知られる「酒うらら」常理順さん厳選、鳥取の日本酒を揃えました。鳥取の旬素材と一緒に味わって下さい。</p>
<p>20:00 ライブ</p>	<p>海産姉妹ミニライブ 谷中で生まれたサクセスと鍵盤楽器のユニット</p>



● 滞在について相談



● 鳥取特産のランチ・ディナー



● トークイベント
「鹿野に会いに行った旅語り」



滞在受入事業 「鹿野とつながるプロジェクト」



滞在・地域での活動の流れ



アンケート実施

NPO 法人
いんしゅう鹿野
まちづくり協議会



地域の方

連絡・調整



滞在希望者



滞在

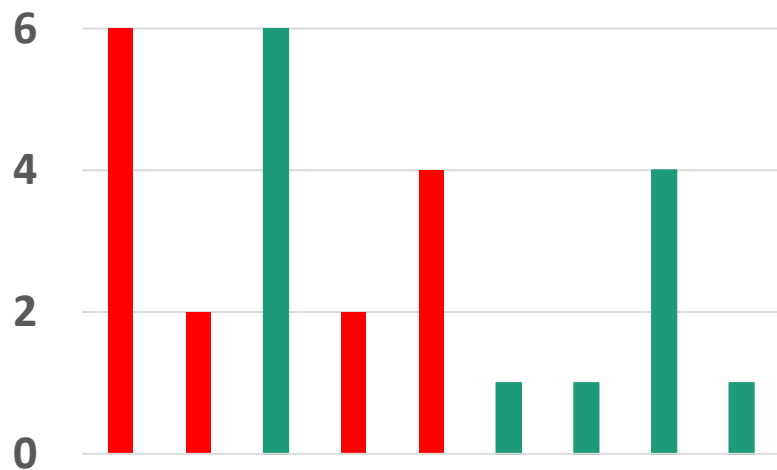


滞在の様子を取材

滞在受入事業 「鹿野とつながるプロジェクト」

鹿野町での活動は？

■ 地域イベントの活動



鹿野芸術祭への出店
映像制作
空き家の片付け
週末だけのまちのみせでの出店
鳥の演劇祭
農家への取材
リモートワーク
地域へのヒアリング
教室の開催

健康教室の開催



農家への取材



空き家の片付け



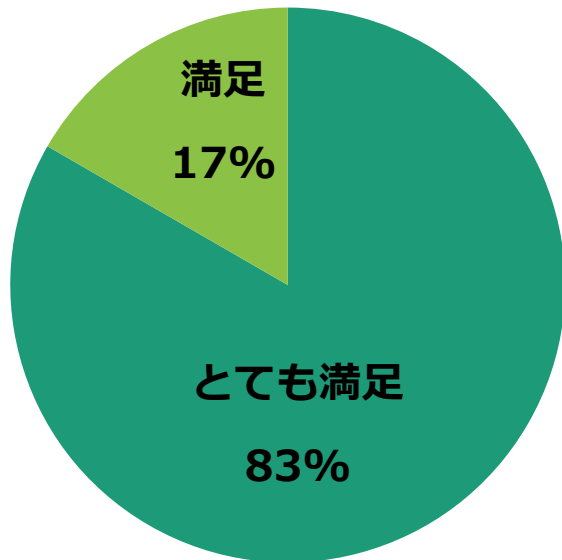
週末のまちみせ出店



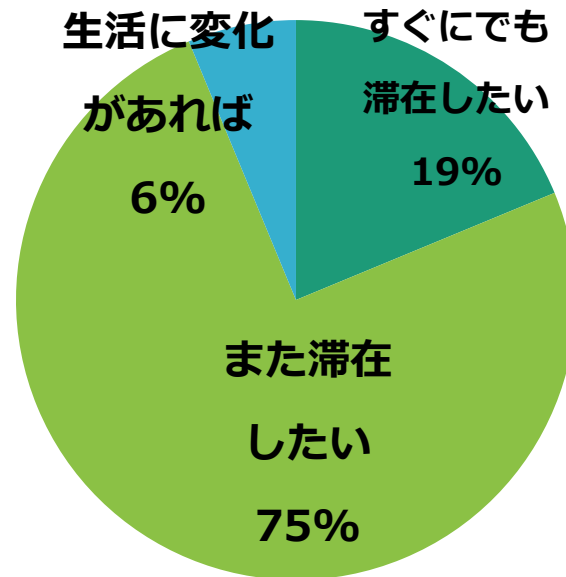
アンケート結果①

回答数18件/20件 回答率90%

滞在・活動について

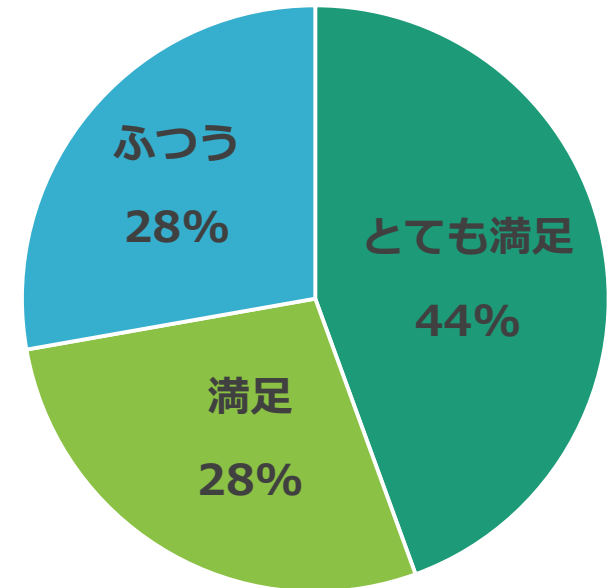


鹿野町で滞在・活動して良かったですか？



また滞在したいと思いますか？

滞在環境について



宿泊施設・生活環境についてどのように感じましたか？

アンケート結果②

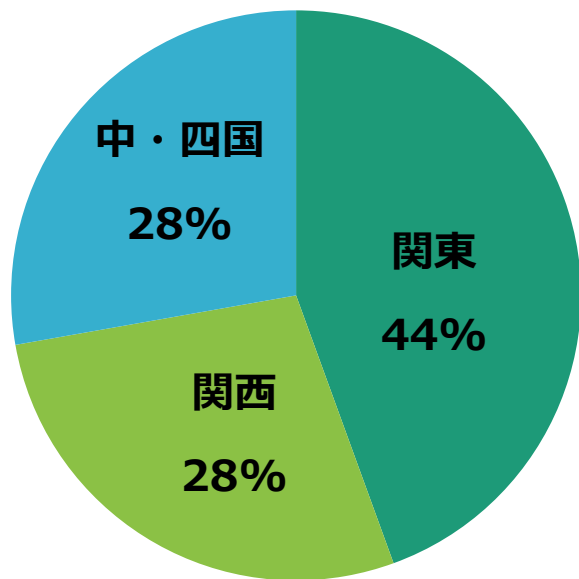
回答数18件/20件 回答率90%

滞在者について

滞在者の年齢 20歳～45歳

平均値 約29歳

中央値 30歳



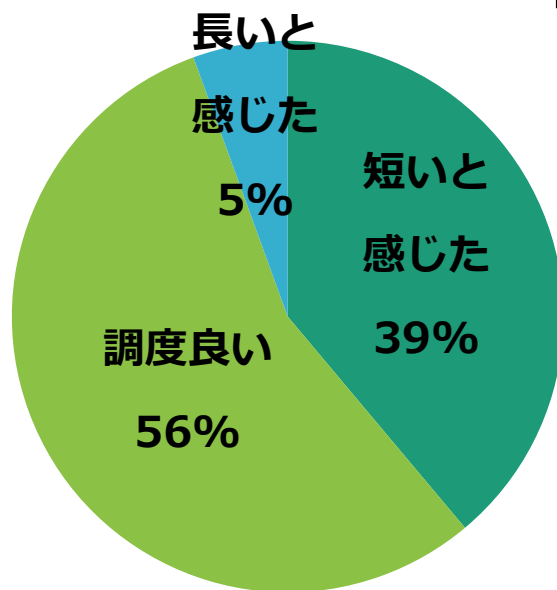
滞在者の在住エリア

滞在期間について

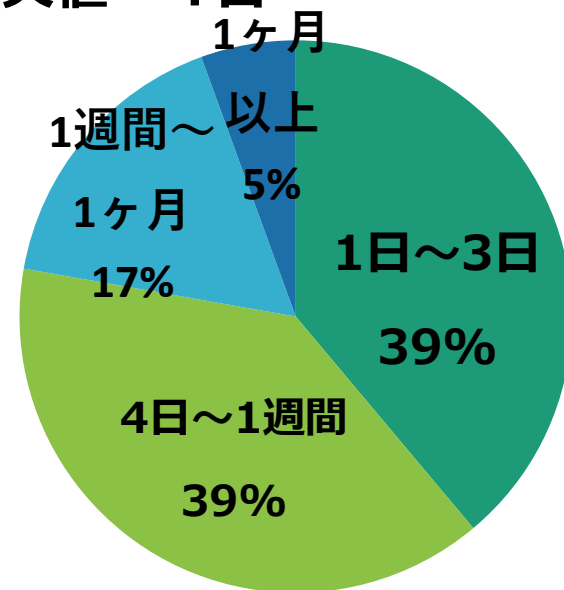
滞在日数 180日（想定） → 137日（結果）

1人あたり滞在日数 平均値 8.5日程度

中央値 4日



滞在期間は
どうでしたか？



今後、どの程度の期
間を希望しますか？

大阪国際大学の取組

地域課題テーマの設定

鹿野町河内集落で取り組む耕作放棄地の活用策
「果樹の里山プロジェクト」の情報発信



大学生が考える課題・提案

1. 交流人口の増加 → SNSを活用した広報活動
→ 定期的なイベント実施
2. 果樹の里山メンバーの拡大
3. 果樹の里山事業の持続性 → 六次産業化を図る（ビジネス化へ）

①調査・ヒアリング（8月、10月）

地域住民と協働でツアーを企画

②協働実践活動（11月9日）

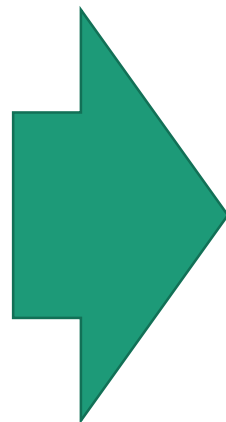
鹿野河内 秋の里山ツアー実施

- ・ 事業内容
フットパスウォーク
竹でお箸作り体験
果樹の里山見学
- ・ 参加者 11名
- ・ 運営スタッフ
大阪国際大学 7名
地元協働実施者 8名



事業の目標・結果

■ 滞在人数 **6**名
(目標)



20名
(実績)

■ 滞在施設 **2**所**4**室以上
(目標)

2所**10**室
(実績)



目標達成の要因

**事業アドバイザー・再委託先 (NPO) の
人材ネットワーク**

事業の成果

事業の成果

事業の主な成果

人

事業参加者のうち
1名が、二拠点活動予定
1名が、移住を決定

場所

NPOが空き家を
リノベーション
交流滞在施設の開設 2所10室

活動

大阪国際大学が
『果樹の里山事業』における
課題・提案を行い、引き続き関与

事業実施後の経過

- ・二拠点活動
⇒コロナ禍の影響で停滞
- ・移住 ⇒R2.4月から居住

・オンライン移住相談

・空き家の調査を実施

NPOの取り組み

果樹の里山事業

・拠点施設の整備

・交流事業
体験メニューの企画
・PR事業
情報発信イベント

・商品開発事業

大阪国際
大学
が関与

課題と取組

課題

1. 情報発信不足

➡ 情報整理・集約や都市部に合わせた媒体での発信が必要

2. マンパワーの不足

➡ 人材育成が必要（滞在者個々への対応で負担）

3. 住民との交流機会の増加

行政としての関わり

地域づくり団体の育成支援



ご清聴ありがとうございました